

平成 25 年度の受賞団体

「みやぎ食育大賞」 みやぎ仙南農業協同組合

本組合は、昭和 45 年から食農交流に取り組み、農作業体験や学習会の開催を通じて生産者と消費者の交流を図ってきました。

近年は、親子を対象とした「田んぼの学校」を開催し、田植え・稲刈りの体験学習と田んぼの生き物の調査をしています。また、みやぎ生活協同組合と連携し、子どもたちがバケツで稲を育てる「バケツ稲栽培」を支援しています。

バケツ稲栽培では、春から秋までの生育、稲刈り、脱穀など米生産に関するほとんど全ての行程を体験することにより、生産の苦労と喜びを身をもって知るとともに、農業に対する関心と食べ物に感謝する心を醸成しています。また、これらの食育活動は、子どもを介して家庭に食と農に関する情報を伝える機会にもなっています。



「みやぎ食育奨励賞」 尾出 弘子 氏

地域の子どもを対象に、一汁三菜を基本とした和食～鍋で炊くご飯、出汁からとる味噌汁、地場産・旬の食材をたっぷり使った料理～の教室を継続的に開催しています。

教室では、望ましい食習慣の形成、地域の食文化の継承、食料自給率の向上、環境保全など多様な視点からの食育を実践しています。子どもたちは、楽しい雰囲気の中で調理と会食をしながら、食に対する心構えを見つめ直すとともに、食を通じた健康づくりの大切さや地域の農業生産と自らの食との関わり合いについて学んでいます。



「みやぎ食育奨励賞」 宮城県漁業協同組合仙南支所(山元)

山元町の学校や食生活改善推進員をはじめとする様々な分野の皆さんと連携し、郷土料理「はらこめし」をシンボルとした食育活動に取り組んでいます。

この活動では、町内の 4 小学校において、5 年生全員が地域産業の秋鮭漁について学習した上で、その日の朝に獲れた鮭をおろすの見学し、はらこめしをつくります。子どもたちは、講師である地域の大人との交流を通じて、料理の楽しさを体験するとともに、山元町の産業や食文化を学ぶ機会となっています。

地域に根差した食育活動は今年で 10 年目となり、町の名物事業となっています。5 年生になってはらこめしをつくるのを楽しみにしている児童も多いとのこと。

